

Psa

Chapter 39

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

דָּרְכֵי אֲשֶׁמְרָה אֲמַרְתִּי לְדָוִד מְזִמֹּר [לְיְהוֹתוֹן] לְיְהוֹתוֹן (לְיְהוֹתוֹן) לְמַנְצֵחַ 1
自分の-道を 私は-守ろう 私は-言った ダビデの 賛歌 [エドウトンに] (エドウトンに) 指揮者に
H1870 H8104 H0559 H1732 H4210 H3038 H3038 H5329

רָשָׁע בְּעַד מַחְסוֹם לִפִּי אֲשֶׁמְרָה בְּלִשׁוֹנִי מַחְטֵא
悪しき者が いる-間は 口輪を 自分の-口に 私は-守ろう 自分の-舌で 罪を-犯さないように
H7563 H5704 H4269 H6310 H8104 H3956 H2398

לְפָנַי
私の-前に
H5048

聖歌隊の指揮者エドトンによってうたわせたダビデの歌 わたしは言った、「舌をもって罪を犯さないために、わたしの道を慎み、悪しき者のわたしの前にある間はわたしの口にくつわをかけよう」と。

נֶעֱכַר וְכֹאֲבִי מַטּוֹב הַחֲשִׁיתִי דּוֹמְמָה נִאֲלַמְתִּי 2
かき立てられた しかし-私の-痛みは 善い-ことから 私は-静まった 沈黙して 私は-黙り込んだ
H5916 H3511 H2814 H1747 H0481

わたしは黙して物言わず、むなしく沈黙を守った。しかし、わたしの悩みはさらにひどくなり、

בְּלִשׁוֹנִי דִבַּרְתִּי אֵשׁ תִּבְעַר- בְּהִנְיִי בְּקִרְבִּי וְלִבִּי חָם- 3
自分の-舌で 私は-語った 火が 燃え上がった 思い巡らすと 内に 私の-心は 燃えた
H3956 H1696 H0784 H1901 H7130 H2552

わたしの心はわたしのうちに熱し、思いつづけるほどに火が燃えたので、わたしは舌をもって語った。

הֲיֵא מַה- יָּמֵי וַיִּמְדַּת קִצֵּי וַיְהִי הוֹדִיעֵנִי 4
あるかを 何で どれほどか そして-私の-日々の-長さが 私の-終わりを 主よ 知らせてください
H1931 H4100 H3117 H7093 H3068 H3045

אֲנִי חָדַל מַה- אֲדַע
私が はかない どれほど 私が-知るように
H0589 H2310 H4100 H3045

「主よ、わが終りと、わが日の数のどれほどであるかをわたしに知らせ、わが命のいかにはかないかを知らせてください。

כְּאֵין וַחֲלָדִי יָּמֵי נִתְּתָה וּמִפְחוֹת הַנֵּה 5
無いに-等しい そして-私の-寿命は 私の-日々を あなたは-定めた 手幅ほどに 見よ
H0369 H2465 H3117 H5414 H2947 H2009

סְלָה נֹצֵב אָדָם כָּל- הַבָּל כָּל- אֵךְ נִנְדָךְ
セラ 立っている 人は すべての 空しさ すべての まことに あなたの-前では
H5542 H5324 H0120 H3605 H1892 H3605 H0389 H5048

見よ、あなたはわたしの日をつかのまとされました。わたしの一生はあなたの前では無にひとしいのです。まことに、すべての人はその盛んな時でも息にすぎません。[セラ

יִצְבֹּר	יִהְיֶינּוּ	הַקֵּל	אֶדָּה	אִישׁ	יִתְחַלֵּק	וּבְצִלָּם	אֶדָּה	6
蓄える	彼らは-騒ぎ立てる	空しく	まことに	人は	歩み回る	幻の-中を	まことに	
H6651	H1993	H1892	H0389	H0376	H1980	H6754	H0389	

אֶסְפָּם:	מִי	יִרְע	וְלֹא
集めるかを	誰が	—	しかし-知らない
H0622	H4310	H3045	H3808

まことに人は影のように、さまよいます。まことに彼らはむなししい事のために騒ぎまわるのです。彼は積みたくわえるけれども、だれがそれを収めるかを知りません。

הִיא:	לָךְ	תּוֹחַלְתִּי	אֲדַנִּי	קִנִּיתִי	מִה	וְעַתָּה	7
ある	あなたに	私の-望みは	わが-主よ	私は-待ち望んだのか	何を	そして-今	
H1931		H8431	H0136		H4100	H6258	

主よ、今わたしは何を待ち望みましょう。わたしの望みはあなたにあります。

אֶל-	נִבֵּל	חֲרַפַּת	הַצִּילָנִי	פִּשְׁעֵי	מִכָּל-	8
しないでください	—	愚か者の-そしりを	私を-救い出してください	背きから	すべての-私の	
H0408	H5036	H2781	H5337	H6588	H3605	

תְּשִׁימֵנִי:
私に-置くことを

わたしをすべてのとがから助け出し、愚かな者にわたしをあざけらせないでください。

עָשִׂיתָ:	אַתָּה	כִּי	פִּי	אֶפְתַּח	לֹא	נִאֲלַמְתִּי	9
なされたから	あなたが	なぜなら	口を	開かない	ない	私は-黙った	
			H6310		H3808	H0481	

わたしは黙して口を開きません。あなたがそれをなされたからです。

קָלִיטִי:	אֲנִי	יָדְךָ	מִתְנַת	נִנְעַד	מֵעָלַי	הָסַר	10
消え果てた	私は	責めによって	あなたの-手の	あなたの-打ちを	私から	取り除いてください	
H3615	H0589	H3027	H8409	H5061		H5493	

あなたが下された災をわたしから取り去ってください。わたしはあなたのみ手に打ち懲らされることにより滅びるばかりです。

כַּעֲשׂ	וְתָמַס	אִישׁ	יִסְרַת	וְעוֹן	עַל-	בְּתוֹכָהֶן	11
蛾のように	そして-溶かした	人を	あなたは-戒めた	咎	に-対する	懲らしめによって	
	H4529	H0376	H3256	H5771			

סְלָה:	אָדָם	כָּל-	הַקֵּל	אֶדָּה	חֲמוּדוֹ
セラ	人は	すべての	空しい	まことに	その-宝を
H5542	H0120	H3605	H1892	H0389	

あなたは罪を責めて人を懲らされる時、その慕い喜ぶものを、しみが食うように、消滅ぼされるのです。まことにすべての人は息にすぎません。[セラ]

דִּמְעוֹתַי	אֶל-	הֶאֱזִינָהּ	וְשׁוּעָתִי	יְהוָה	וּתְפִלָּתִי	שָׁמְעָה-	12
私の-涙	に	耳を-傾けてください	そして-私の-叫びに	主よ	私の-祈りを	聞いてください	
H1832	H0413	H0238	H7775	H3068	H8605	H8085	

כָּכָל-	תּוֹשָׁב	עִמָּךְ	אֲנִכִּי	גֵר	כִּי	תִּחְרַשׁ	אֶל-
すべての-私の	旅人	あなたの-もとに	私は	寄留者	なぜなら	黙ることを	しないでください
H3605			H0595	H1616			H0408

אֲבוֹתַי:
先祖たちのように
[H0001](#)

主よ、わたしの祈を聞き、わたしの叫びに耳を傾け、わたしの涙を見て、もださないでください。わたしはあなたに身を寄せる旅びと、わがすべての先祖たちのように寄留者です。

אֶלַי
しまう-前に
[H3212](#)

בְּטַרְם
私が-行って
[H2962](#)

וְאִבְלִינָה
そうすれば-私は-喜ぶ
[H1082](#)

מִמְנִי
私から

הֲשִׁע
目を-そらしてください
[H8159](#)

13

וְאִינִי
そして-いなくなる-前に
[H0369](#)

わたしが去って、うせない前に、み顔をそむけて、わたしを喜ばせてください」。